

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設(交通施設:畑線)整備事業						
補助事業者名	由布市長						
実施場所	大分県由布市湯布院町下湯平						
補助事業の成果の目標	畑地区の公民館及びグラウンドは、災害避難場所に指定されているにも関わらず、接続する道路(里道)は幅員が2mと狭く、離合困難かつ物資搬入の貨物車が進入できない状態である。 このため2車線道路と接続する畑線を新規整備することにより、災害時の迅速な避難、災害支援物資の搬入が容易になり、近隣住民の安全安心を確保することができる。また日頃の公民館利用についても利便性の向上が図られる。 また救急車がグラウンドに容易に進入できるようになりドクターヘリとの待ち合わせがスムーズに行えるようになる。						
補助事業の内容	道路新設工事 延長 L=192.5m 幅員 W=4.0m						
補助事業の始期及び終期	平成24年度～平成26年度						
事業費及び交付金額		24年度	25年度	26年度			計
	事業費	円 1,774,500	円 5,617,620	円 31,392,360	円	円	円 38,784,480
	交付金額	1,500,000	4,900,000	31,000,000			37,400,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本道路開設により2車線道路(市道湯平庄内線)と畑公民館・畑グラウンドが直結したことにより、離合困難及び物資搬入の貨物が進入できない状態が解消され、地域住民から「公民館(グラウンド)への行き来が自家用車で容易にできるようになり、使い勝手がよくなった。災害避難時等、地域住民が迅速に集まることができるようになった。」との意見が寄せられた。また消防署・消防団が現地調査を実施し、防火水槽、グラウンドへのアクセスの確認を行い、本道路が消防・救急活動に大きな役割を果たすことの確認がなされた。配布資料や工事案内文書、工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し周知を行った。						
事業の改善策及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注： 1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分別及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共施設 (環境衛生施設：ごみ収集車) 整備事業						
補助事業者名	由布市長						
実施場所	大分県由布市湯布院町川西						
補助事業の成果の目標	<p>市内から排出される一般廃棄物を、迅速かつ効率的に収集・処理することは、地域住民が衛生的で快適な生活環境を保持するうえで、強く求められている。平成19年4月より、一般廃棄物の分別方法が従前の7分別から11分別に変更となり、収集・運搬を計画する上で効果的な車両の配備を行ってきた。</p> <p>現在使用している3t・4t(各1台)のごみ収集車は、購入後10年を経過し、老朽化により故障・修理も多く作業に支障を来たしているため、同仕様の積載のごみ収集車を代替購入し、4t収集車については、これまで予備車両がなく、車両故障の際、収集作業に支障があったため予備車両として残し、同仕様の積載のごみ収集車を新規購入し、地域住民の衛生的で快適な生活環境の整備を図る。</p>						
補助事業の内容	ごみ収集車 購入 3t車 1台、4t車 1台						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度					計
	事業費	円 15,703,200	円	円	円	円	円 15,703,200
	交付金額	15,700,000					15,700,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>湯布院地域内の可燃物・ビン・カン・ペットボトルの収集作業を継続して実施。作業日誌等を確認した結果、月平均3,000km以上走行するなど高稼働しており、地域住民の衛生的で快適な生活環境の整備に寄与している。</p> <p>周知については、ごみ収集車の車体側面に「特定防衛施設周辺整備調整交付金」と明記している。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分別及び基金残額についても記載すること。
2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設(交通施設:中釣鶴見岳線)整備事業						
補助事業者名	由布市長						
実施場所	大分県由布市湯布院町塚原						
補助事業の成果の目標	本路線は、新設後20年以上が経過し舗装面(表面)の劣化が顕著に表れている。 そのため、ポットホールの補修が絶えず、通行車両の安全が保てない状態となっている。 今回、道路改築(舗装修繕)を行うことにより、舗装面の劣化の改善を図り、地域住民が 安全に走行できるよう利便性の向上を図る。						
補助事業の内容	舗装工事 延長 L=2,260m 幅員 W=5.5m						
補助事業の始期及び終期	平成25年度～平成26年度						
事業費及び交付金額		25年度	26年度				計
	事業費	円 33,180,840	円 38,244,960	円	円	円	円 71,425,800
	交付金額	33,180,000	37,700,000				70,880,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	舗装工事を行ったことにより、車両通行の安全が確保され、地域住民から「陥没や舗装表面の凹凸がなくなり、安心して通行できるようになった」との意見が寄せられ、地域住民の生活環境の改善に寄与することができた。 また、住民への工事案内文書、工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し周知を行った。						
事業の改善策及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注： 1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設 (消防に関する施設：携帯型デジタル簡易無線機) 整備事業					
補助事業者名	由布市長					
実施場所	大分県由布市庄内町柿原302番地 由布市庄内庁舎					
補助事業の成果の目標	由布市消防団は、現在、部ごとに通信機器を整備しているため、部内での通信しかできず、大火災や捜索、災害時に情報が正確に伝わりにくかったので、消防団全体に携帯用無線機を整備することにより、消防団間の連絡強化及び関係住民の生活の安定及び福祉の向上に寄与すべく携帯型デジタル簡易無線機整備事業を計画する。					
補助事業の内容	物件購入 携帯型デジタル簡易無線機 165台					
補助事業の始期及び終期	平成26年度					
事業費及び交付金額		26年度				計
	事業費	円 4,045,140	円	円	円	円
	交付金額	4,000,000				4,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>由布市消防団に携帯型デジタル簡易無線機を配備したことにより、3月16日に発生した行方不明者の捜索活動において、消防団内の連絡が密になり早期発見にいたった。また、同月26日に発生した火災においても、現場指揮系統が密になり被害を最小限にいとめ、関係住民からも消火活動の早さに感謝された。</p> <p>消防団会議での特定防衛施設周辺整備調整交付金事業での整備した説明については、挾間方面隊については3月18日に実施、湯布院方面隊と庄内方面隊は4月10日と16日に実施しており、由布市全体の幹部(分団長以上)についても、4月3日の幹部会議で周知している。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	無					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。
2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設 (消防に関する施設：乙丸3地区消火栓) 整備事業						
補助事業者名	由布市長						
実施場所	大分県由布市湯布院町川上						
補助事業の成果の目標	初期消火用水利の無い場所における消防用施設の新設を行うことにより、周辺住民の安全・安心対策とし、また、消防活動に従事する者のスムーズな初期消火活動を施設整備により促すことで、火災の早期消火や延焼を食い止めるなどの効果が期待できる。 以上により、民生の安定を図ることを目標とする。 消火栓新設に伴う半径100m間の影響戸数:38戸						
補助事業の内容	消火栓 2基						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度					計
	事業費	円 3,790,800	円	円	円	円	円 3,790,800
	交付金額	3,500,000					3,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	完成後、地元消防団による水利査察を行い、火災等における不測の事態への対応及びスムーズな初期消火活動が行えるようになったことを確認した。地域住民への周知については工事期間中の案内文書・看板へ防衛省交付金である旨の記載を行い周知を図った。消防施設台帳への記載については平成27年度消防施設再調査後の台帳整備により記載。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。
2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。